

I 子育てひろば、その他の事業

<令和4年度事業概要と次年度への課題>

① 基本事業

- A 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- B 子育て等に関する相談、援助の実施
- C 地域の子育てに関する情報の提供
- D 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

② 地域支援事業

- A 高齢者・地域学生など地域の多様な世代との連携を継続的に実施する取り組み
- B 地域の団体と協力して伝統文化や習慣・行事を実施し、親子の育ちを継続的に支援する取組
- C 地域ボランティアの育成・町内会、子育てサークルとの協働による地域団体の活性化など地域の子育て資源の発掘・育成を継続的に行う取り組み

3 出張ひろば

4 利用人数

5 情報発信・広報

6 子育て情報サイトころころネット

II 東村山市ファミリー・サポート・センター事業

III 防災・安全について

IV 自主事業について

- A エンパワメント企画
- B 保育サポート「まめっちょ」
- C ころころまるしえ

V 事故及びクレーム対応について

VI その他支援センターに必要な事業

- A 関係機関との連携等
- B 利用者アンケートの実施
- C 個人情報の保護

※データは令和5年1月末現在のもの

(ファミリー・サポート・センターは令和4年12月末)

I 子育てひろば・その他の事業

〈令和4年度 重点課題〉

- ・子育て家庭が安心して子育てに向き合えるよう交流の場の提供と寄り添った支援をおこなう
- ・妊産婦とその家庭へのアプローチを模索していく
- ・地域連携の仕方を工夫し協働で取り組みを進める
- ・困り感のある親への次への支援が円滑に進められるよう他機関との連携を図る

〈令和4年度 事業概要と次年度への課題〉

令和4年度の子育てひろばは、市と協議の上、引き続き感染状況に応じた対策を講じて運営してきた。定員を設け、平日の午前中と土曜日は予約制、平日午後は予約なしで受け入れをしている。予約制にすることで利用の敷居が高くなったとの声もあるが、現段階では利用の仕方の選択ができることが、安心したひろば利用に繋がっている。

コロナ禍における働き方の変化や育児休業制度の導入などから、平日の父親のひろば利用が増えた。「赤ちゃんタイム」や「パパママ講座」の他、父親向けプログラムの「パパと体育遊び」は、毎回希望者も多く繰り返し参加する父親も多くなった。今後も父親のニーズを探り事業継続を図っていきたい。毎月実施している「ふたごちゃんの日」は、多胎親子同士の交流によって互いに支え合うピアサポートの効果を実感できる事業になっている。

外遊びも一層求められている。「てんとうむしひろば」は0歳から参加でき、小さい子は少し大きな子と一緒に遊んだり動きを観察したりすることで、遊びの幅が広がっている。「あつまれ1才!」では保育園の1歳児クラスと園庭で外遊びを実施した。保育園に通う同年齢の子ども達の遊びの様子や先生の関わり方を見ることで、参加者の親にさまざまな気づきや発見があった。今後も子どもの成長に欠かせない体験や育ち合いの機会を提供していきたい。

コロナの感染数の減少に伴い小中学生のジュニアボランティアや、地域の方々からのボランティア希望が増加した。「みんなでぽっかぽか」への参加を促すなど、ボランティア同士の交流も図れる工夫をしてきた。ファミリー・サポート・センターの提供会員による一時預かり事業「まめっちょさんのちょこっと預かり」の利用や、ひろば内での預かり件数も増えている。ころころの森が多様な世代の居場所の一つになっていることが実感できる。

地域連携事業のひとつ「赤ちゃん登校日」はコロナ前の形での実施は難しい状況だが、中学校の校内で「出前ひろば」という形で実施することができた。

コロナ禍において、以前なら友達と話して楽になるような軽微な相談が増えた一方、母親自身の重篤な精神疾患等、より関係機関の連携が必要なケースも増加している。東村山市の誰もが安心して子育てができるようしくみや方法を行政と共に考えていきたい。

今年度は当センターの指定管理者選定が行われ、引き続き運営を担うことになった。これまでの経験の上に、これからの時代に求められる子育て総合支援センターとしての役割を果たしていきたい。

① 基本事業

A 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

	事業名	内容	開催回数	参加人数
1	こんにちはプレさん	赤ちゃんタイム。0ちゃんの日・パパママ講座と同時開催。自然な受け入れを行った。		1人
2	赤ちゃんタイム(5・6・7か月の赤ちゃん和妈妈の会)	わらべうたと親同士の交流。グループ対抗のゲームを取り入れ、コミュニケーションを促した。(HUGと共催)	毎月 8, 11月は 土曜開催	108組 183人
3	赤ちゃんタイム(8～12か月の赤ちゃんの会)	わらべうたと交流。定員を減らした分、2回制として受け入れ人数を確保した。年に2回、土曜日に開催しパパの参加を促した。(HUGと共催)	毎月	98組 232人
4	0ちゃんの日	0歳の親子を対象に、くじらの部屋でおもちゃ選定等の環境設定を工夫して交流しやすく、遊びやすいひろばを開催。赤ちゃん親子に向けた子育て情報を提供した。入退室は自由な時間で。新規の方、プレさんの参加を呼び掛けた。外遊びは狭山公園や中央公園で公園の紹介もかねて、レンジャーさんと散策などをして初めてのお外遊びの一步を一緒に楽しんだ。	毎月1, 2回 5・10月は 外遊び	146組 305名
5	あつまれ1才!(1才0か月～1才6か月のお友だち)	1.0～1.6歳の親子を対象にくじらの部屋で発達に応じたおもちゃ選定等環境設定を工夫して、より遊びやすいひろば、交流しやすいひろばとした。入退室は自由な時間。外遊びはつばさ保育園の1歳児クラスと連携し、一緒に外遊びを行った。	毎月1回	73組 147人
6	あつまれ1才!(1才7か月～2才0か月のお友だち)	1.7～2.0歳の親子を対象にくじらの部屋で発達に応じたおもちゃ選定等環境設定を工夫して、より遊びやすいひろば、交流しやすいひろばとした。入退室は自由な時間。外遊びはつばさ保育園の1歳児クラスと連携し、一緒に外遊びを行った。	毎月1回	59組 121人
7	あつまれ2才～のお友だち	2才からの親子で北山公園内の散策などをして遊んだ。	毎月1回 8月休み	47組 105人
8	誕生会	インスタグラムで動画等を配信し、お祝いのメッセージを届けた。	毎月配信 Instagram	フォロワー 1000人
9	ふたごちゃんの日	市の母子保健と連携し多胎親子支援を実施。毎月交流会を実施し、多胎親子、これから多胎児を出産予定のプレさんの出会いの場・情報交換の場を提供した。通常のひろばの利用につながった。新規の方、プレさんの参加を呼び掛けた。	毎月 8月休み	36組 127人
10	グループ育児支援 おむすびころりん	2.3歳児親子の外遊びの会。外遊び体験と仲間づくりを目的に4クール開催(1クール9回)。中盤で1日、親子分離の「おしゃべりの会」実施。 28期:4月～6月、10組25名、 29期:8月～11月、9組19名 30期:10月～2月、7組17名 31期:1月～3月、12組26名(各期9回開催)	36回	193組 427人

11	障がいのある子と家族への支援	障がいのある子の家族への支援のあり方について、いろいろな団体と交流しながら模索した。	随時	
12	外国籍の家族への支援	市役所と連携し、また来館する外国籍の親子と共に外国籍の家族の支援を模索した。	随時	随時
13	こあらの部屋	2歳以上対象。壁一面に水でお絵描きができる設定を実施した。	12月から毎日	230人
14	てんとうむしひろば	0歳からの外あそびとして、異年齢での外あそびを楽しんだ。コロナ対策として、2回制で開催。狭山公園や八国山たいけんの里の学芸員さんの協力で、自然を身近に感じることができた。	毎月1, 2回	181組 288人
15	地域の農産物に触れよう	近隣の農家に協力いただき、家族で体験できる里芋掘りを実施。(11月20日)	1回	17組 51人

B 子育て等に関する相談、援助の実施

	事業名	内容	開催回数	参加人数
	ひまわり会	小児科医師による個別相談	6回	15組 32人
	つくしんぼ	計測と軽微な相談	毎月1回	127組 291人
	ぐるりんぼ	集団生活の前の時期に、親子が安心して過ごせるように、臨床発達心理士を迎え小グループで遊びの会を実施。1歳半～2歳対象。 前期 4～7月 7回 7組 後期 10～2月 8回 7組	15回	80組 116人

C 地域の子育てに関する情報の提供

	事業名	内容	開催回数	参加人数
1	乳児健診でのひろば紹介	3か月健診を終えた親子に向けて、市内の子育てひろばの紹介の掲示。	3か月健診時	
2	東村山たんけん	東村山の行事情報や年中行事の解説などを掲示	随時	随時

D 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

	事業名	内容	開催回数	参加人数
1	パパママ講座	臨床心理士の永田先生からわらべ唄を交えた赤ちゃんとのコミュニケーションについて学んだ。後半はパパ同士ママ同士に分かれ、日頃の子育てについて話し合った。	4回	18組 49人
2	パパママ赤ちゃんとおそぼ	パパママ講座終了後に開催し講座の復習、参加者同士の交流を促した。	5回	22組 58人
3	離乳食講座	栄養士による離乳食講座を実施	1回	10組 21人
4	パパと体育あそび	パパ向けに親子の体育あそびを行った。	4回	37組 74人
5	産後リハビリテーション	東京都理学療法士会と共催。産後の骨盤矯正や赤ちゃんの抱き方などの講座を行った	1回	8組 16人

② 地域支援事業

A 高齢者・地域学生など地域の多様な世代との連携を継続的に実施する取り組み

	事業名	内 容	開催回数	参加人数
1	ぽっかぽか (ひろばでぽっかぽか)	ボランティアや地域の方々、OBの母たちに気軽に足を運んでもらいひろばの親子との交流をはかった。こま回し、折り紙、名札作り、ピアノ演奏、おもちゃ作り、装飾作り等 月に一度、手仕事の日「みんなでぽっかぽか」を開催。	毎月 こま週2回 折り紙付き 3回	416人 63人
2	ぽっかぽか (おうちからぽっかぽか)	地域の方に、ころころの森のおもちゃの材料や装飾のための折り紙作品等の提供を受けた。	随時	47人
3	赤ちゃん登校日	実施予定とは別の形でおこなった 東村山第1中学校で出張ひろばを実施 東村山第7中学校の放課後カフェに参加	2回	1中10組 21人 7中4組 8人
4	ジュニアサポーター講座	小学5年生～中学生を対象に、助産師、臨床心理士による講座を行い、その後ひろばでボランティアを体験した。 7月27,28日 講座開催 8月 ボランティア受け入れ 12名	講座2回 ボランティア活動11回	41人 小学生 24人 中学生 17人

B 地域の団体と協力して伝統文化や習慣・行事を実施し、親子の育ちを継続的に支援する取組

	事業名	内 容	開催回数	参加人数
1	おはなし会	地域ボランティアによる読み聞かせや人形劇 くまボラさん 4回 おはなしくまさん 1回	5回	51組 112人
2	季節の行事	七夕、お月見、正月のまゆだま作りを行った。	3回	33人

C 地域ボランティアの育成・町内会、子育てサークルとの協働による地域団体の活性化など 地域の子育て資源の発掘・育成を継続的に行う取り組み

	事業名	内 容	開催回数	参加人数
1	おもちゃサポーター	ボランティア、利用者によるおもちゃ修理や作成を行った。	随時	13人
2	萩山親子のひろば 「どんぐり」との協働	『萩山親子のひろばどんぐり』訪問し(4月14日)、遊びの会を実施した。	1回	
3	おもちゃの病院	ひろば利用者が持ち込んだ壊れたおもちゃをおもちゃドクターが修理し返却した。	10回	70件
4	「トコトコ通信」支援	「トコトコ通信」発行にともなう支援。	10回	
5	地域団体活動支援 (子育て支援団体)	諏訪町3丁目サロン 東村山障害児連絡会	随時	

6	備品貸出(印刷機)	各ひろば等への印刷機貸出	随時	17件
7	備品貸出(備品)	各ひろば等へのおもちゃ等備品貸出	随時	3件
8	サークル支援	子育て支援団体・サークルの登録 多目的室貸出	随時	1件 8回 26人

3 出張ひろば

	事業名	内 容	開催回数	参加人数
1	出張ひろばあきつ 「まんま」	秋津地域研修交流センターにて毎週火曜日午 前：10:00～12:00、午後：13:00～15:00 開催。	毎週火曜 日	363組 743人

4 利用人数

別紙

5 情報発信・広報

	事業名	内 容	開催回数
1	ホームページ・SNS の管 理	ころころの森のホームページ・Instagram の維持、管 理、内容の充実。	随時
2	ひろばだより発行	ひろばだよりを発行、配布。増刊号を 2 回(特別号) 作成。	計 24,100 部

6 子育て情報サイトころころネット

開設 10 年目、コロナ禍の状況に見ながら運営委員会を実施し、利用者とともに事業や活動を行うことができた。ひろば利用者同士の交流が制限されている現状の中、取材し隊（市民委員）による意欲的な意見交換により、育児方法や子育て情報を当事者目線で動画配信する新たな取り組みを始めた。

個別発信ツール「LINE 公式アカウント」の運用は好評で、タイムリーな情報発信につながっている。

	事業名	内 容	回数	人数
1	運営委員会の開催	市民委員 2 名を含む運営委員による月 1 回の会議で活動 内容について検討を行った。	6 回	33 人

2	ころころネットサポーターズ活動	【メンテナンス事業・更新作業】 保育付き有償ボランティアを募り、子育て当事者によってリンク先などのチェックを行い、情報を更新した。	9回	93人
		【コンテンツ作り】 ① ふだん親子で遊びに行く場所などの記事を作成。 ② 子育てにまつわるテーマごとに、座談会形式の動画を録画。「ママ Radio」として配信した（3本）。	4回	50人
3	「子育てにやさしい大賞」の開催	市民の投稿・投票によって東村山市内の子育てにやさしい施設・店などが選ばれた。大賞のスポットへは、メンバーが出向いて表彰する予定。	期間 10～1月 結果発表 2月 総数 1206票	
4	広報活動	チラシの作成・配布の他、SNSを活用した展開を行った。「LINE公式アカウント」は登録者数が1,500件を超えた。ころころの森のプログラムの周知、閉館、開館状況や予約の空き状況の連絡等を適宜送ることができた。また、やさしい大賞でノミネートされたお店での広報チラシをみたとの情報も利用者さんからあり、今後も様々な形で必要な方に届くシステムを作っていきたい。	通年	

【データ】 2022年4月1日～2023年1月31日

■ アクセスの全体像 ※カッコは昨年度（2021年4月から2022年1月末）の数値

訪問回数	27,156 (23,987)	訪問された回数の総数（延べ数）
ユーザー数	20,491 (18,158)	「訪問数」のうち、訪問したユーザーの人数
ページビュー数	51,089 (48,266)	閲覧されたページの総数
訪問別ページビュー	1.88 (2.01)	1ユーザーが閲覧するページ数の平均
新規訪問の割合	86.6% (87.2%)	

■ アクセスしてきた人の利用端末の割合

	訪問者数	新規訪問者数	新規割合	直帰率	平均滞在時間	訪問別ページビュー
全体	20,491	20,273	86.6%	69.3%	1:13	1.88
…モバイル	16,313 <79.99%>	16,230	80.06%	70.58%	1:06	1.84
…デスクトップ	3,797 <18.62%>	3,763	18.56%	64.23%	1:45	2.09
…タブレット	284 <1.34%>	280	1.38%	62.94%	0:41	1.71

※スマホ利用者が多くを占めるのはこれまでと同様だが、前回期間と比較してデスクトップの訪問者割合が微増（16.81%→18.62%）している。

また、前年同期間と比較すると、全体的にアクセスが若干増加。「取材し隊」、「ママ Radio」などのママたちの活動の継続に加え、コロナ禍を経て地域団体などのイベント開催がわずかだが増えてきていることと連動していると考えられる。

記事掲載がある際に、LINE公式アカウントで告知を行っているが、それによりアクセスが増えるこ

とから、子育て世代にとって地域情報に関心が高いことが感じ取れる。

サポーターズ発案の「ママ Radio」は、コロナ禍でこもりがちになるママたちへ「自分だけではないのだ」という語りかけとも言える企画で、視聴者からの評判も高く、連帯感の醸成と孤独解消の観点から今後も継続していきたい。

II 東村山市ファミリー・サポート・センター事業

〈令和4年度 事業方針〉

仕事と育児の両立支援をはじめ、広く子育て家庭を支援することを主な目的とし、

- ・ 事業趣旨や決まりについて丁寧な説明を心掛け、会員の確保に努める。
- ・ 多様なニーズに応えられるよう、きめ細やかな調整を行う。
- ・ ころころの森の事業と連携した取り組みを継続して行う。
- ・ 感染が広がらないよう配慮しながら調整を行う。

〈評価と課題 及び次年度に向けて〉

- ・ 提供会員養成講習会の参加者が減少傾向にあり、会員確保が難しい。次年度は募集期間を長くしたり、SNS の利用など広報の工夫をしていきたい。
- ・ 様々な依頼に応じて、提供会員の紹介及び依頼の調整に努めた。継続して取り組みたい。
- ・ 「まめっちょさんのちょこっと預かり」など、ころころの森の事業と連携して取り組むことができた。
- ・ 会員、職員ともに感染症対応に慣れて来て、急なキャンセル等にも混乱することなく対応できた。

〈令和4年度報告〉

① 会員の募集及び登録

	前年度末	R4年12月末
依頼会員	1,891人	1,777人
提供会員	172人	151人
両方会員	16人	15人
合計	2,079人	1,943人

<提供会員養成講習会説明会の実施>

7/25(月)10:00~11:00 定員5名、2名参加

8/1(月)10:00~11:00 定員5名、1名参加

② 会員の講習及び交流

<提供会員養成講習会>

9月14日~10月14日までの間の10日間 地域福祉活動室にて実施

申し込み12名 うち10名受講 会員登録8名 (定員15名)

日にち	時間	講習項目	講師
9/14(水)	9:30～10:30 10:30～12:30	事業概要説明 子どものくらしとケア	アドバイザー 古内亜佐子氏・大井実子氏 (保育士)
9/16(金)	9:30～12:30	保育の心・子どもの事故と安全	佐々加代子氏(白梅学園大学)
9/21(水)	10:00～12:00	子どもの遊び	大森靖枝氏(表現遊び講師)
9/22(木)	9:30～12:30	応急処置と救急対応(普通救命講習)	東村山市消防署
9/29(木)	10:00～12:00	子どもの心の発達とその問題Ⅰ	馬場教子氏(臨床心理士)
9/30(金)	10:00～12:00	子どもの心の発達とその問題Ⅱ	永田陽子氏(臨床心理士)
10/4(火)	10:00～12:00	小児看護の基礎知識	丸山遊子氏(保健師)
10/7(金)	10:00～12:00	身体の発達と病気	小保内俊雅氏(医師)
10/12(水)	10:00～12:00	子どもの栄養と食生活	塚原浩子氏(管理栄養士)
10/14(金)	9:30～12:30	援助活動を円滑に進めるために 事業説明及び入会・会員登録	アドバイザー

<ステップアップ講習会の実施>

5月30日(月)13:30～15:00 ころころの森 くじらの部屋

「東村山市の産前産後の現状と課題」 保健師 横山祐美氏

提供会員 12名・職員 4名参加

研修録画動画を You Tube にて配信(6/16～7/31) 再生回数 69回

<フォローアップ研修の実施>

「普通救命救急」 東村山市消防署

1/25(水)9:30～12:30 地域福祉活動室 提供会員 14名参加

<定例会および交流会>

定例会 5/30(月)

交流会 12/5(月)13:30～15:30 「布コラージュワークショップ」 実施 提供会員 10名参加

③ 援助活動の調整

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
170	191	238	202	117	252	262	245	190				1867

(件)

④ 援助活動の指導及び相談

⑤ 援助活動の広報

- ・リーフレットの作成、配布 2月 1500部印刷 980部配布
- ・提供会員養成講習会 案内チラシ発行 7月 500部
- ・広報誌発行 7月 1500部

- ⑥ 報告書及び各種集計表の作成
- ⑦ 関係機関との連絡調整
- ⑧ 事業の運営事務
- ⑨ 危機管理
- ⑩ 職員研修

10/28(金) 全国アドバイザー交流会・講習会 オンライン受講 3名参加

12/15(木) 「リスクマネジメント実践セミナー」WEB 配信 1名参加

2/8(水) 地域子育て支援研修

「ファミリー・サポート・センター事業におけるリスクマネジメントについて」1名参加

III 防災・安全について

〈防災〉

- ・ 社会福祉協議会と合同の避難訓練の実施 2回（1回は自衛消防訓練オンライン講座にて）
- ・ ひろば利用者を含めた避難訓練 毎月1回（667人参加）
- ・ 救急救命講習を受講 1回
- ・ 事前協議における避難場所の確認（ファミリー・サポート・センター）を行った

〈安全〉

- ・ 子育てひろば全国連絡協議会「子育てひろば総合保障制度」、日本興亜損保「普通傷害保険レクレーション安心プラン」加入
- ・ 女性労働協会 「地域子育て支援補償保険」加入
- ・ あいおいニッセイ同和損害保険「団体総合生活補償保険」加入
- ・ <コロナウイルス感染症予防対策>
- ・ 開館前・閉館後、ひろば開催途中等の清掃、消毒の徹底。3密にならないような環境設定を実施。また、職員は毎日体温を計り、健康観察票で管理を行った

IV 自主事業について

A エンパワメント企画

子育てしながらスキルを活かしたい母達のはじめの一步を応援する企画。 （実施無）

B 保育サポート「まめっちょ」

ファミリー・サポート・センター提供会員を活用し、ころころの森の講座やころころのネット活動時の集団保育等を行った。また、お母さんのリフレッシュのためにひろばで2時間の預かり保育を実施した。

	内容	回数	参加
1	ころころの森のプログラムでの保育	25回	98人
2	まめっちょさんのちょこっと預かり	9回	52人

R412月現在

C ころころまるしえ

市内の作業所のお菓子等の販売をひろば内で行い、地域資源の紹介と安全、安心な食べ物の提供を行った。

市内作業所（社会福祉法人 恩師財団東京都同胞援護会 生活実習所）
 （社会福祉法人 山鳩会 なごみの里）
 （特定非営利活動法人 える・ぽいん）

52回 1144名参加

V 事故及びクレーム対応について

- ・事故はなし
- ・意見・要望・苦情等の申し入れはなし

VI その他支援センターに必要な事業

A 関係機関との連携等

	事業名	内容	回数	参加
1	ボランティア・見学者 受け入れ	ボランティア 職場体験 見学者の受け入れ 大学生見学実習 実習生受け入れ	133回 随時 62回 4回 1回	335人 実施無 316人 67人 1人
3	社協との連携	プログラムのボランティア要請、打ち合わせ	4回	
4	職員研修	東京都子育て支援員研修・利用者支援員研修など	6回	
5	地域会議への出席	多摩六都科学館運営連絡協議会など		1回
6	母子保健との連携	母子保健係との協働事業等打ち合わせ・会議への参加		随時

B 利用者アンケートの実施

- ・子育てひろば（2023年2月実施）

ひろばで記入してもらうアンケートのほか、LINEアカウントによる「ひろばを利用したことがある人」「ひろばを利用したことがない人」のアンケートも実施

回答数 子育てひろば 82件
 LINE「利用者」 73件
 LINE「利用していない人」 22件

- ・東村山市ファミリー・サポート・センター

依頼会員 2023年2月実施 109名配布 50名回収（WEBアンケート）

提供会員 2022年2月実施 83名配布 37名回収（WEBアンケート）

C 個人情報の保護

法人の「個人情報保護規定」および仕様書別紙「個人情報の取り扱いに関する特約条項」に基づき、個人情報の保護を図った。